

# 2016年11月 『雪を味方につける』 両面ソーラー

＜背景＞ 旭川は北海道でも比較的降雪量の多い街です。ソーラー発電所の設置にあたり、様々な仕組みを使って雪を味方につけています。

- 両面発電パネル（裏からも発電＝効率アップ）
- 雪に強い架台（旭川向けに専用設計）
- 地面を反射させる（積雪期：雪、積雪期以外：検証中）

## ■ 発電所概要

設置場所	北海道旭川市神居町台場183
発電出力	<b>1,250kW</b> (力率95%)
両面パネル 型式／定格出力／枚数	PST254EarthON60／254W(表面)／5,320枚 <b>合計1,351.28kW</b> (両面太陽電池セル「EarthON(アールオン)」使用)
設置方位／角度	南／40度
発電開始年月	2013年12月



北都ソーラー発電所全景



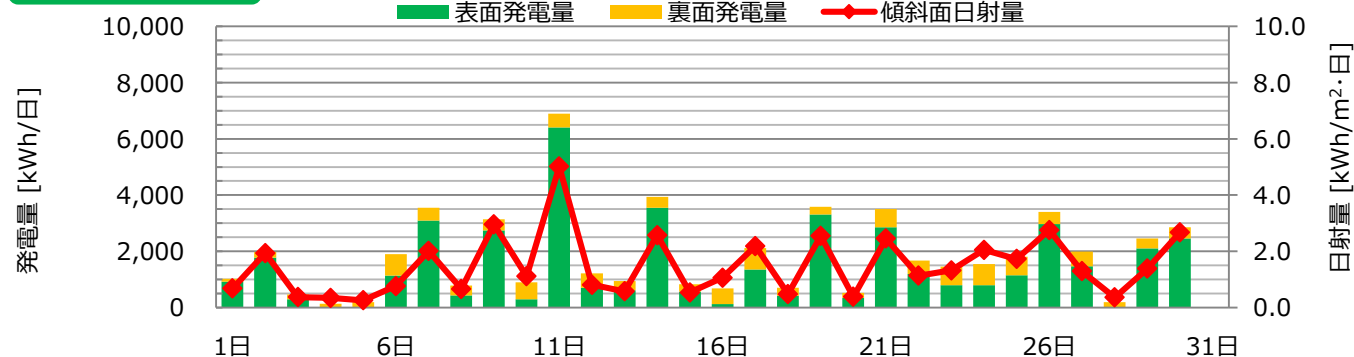
両面発電パネル(裏面側, 冬季)

## 月間発電実績

月積算発電量	<b>56,350</b>	kWh/月	1ヶ月の合計発電量です。
パネル1kW当たり	<b>41.7</b>	kWh/kW・月	月積算発電量をパネル出力(表面)の合計で割っています。
月積算日射量	<b>44.4</b>	kWh/m <sup>2</sup>	1ヶ月の合計日射量です。
システム出力係数 (PR)	<b>0.94</b>	-	日射量に対してどの程度発電したかを示しています。一般の表面のみが発電するシステムは、気温や配線ロス等により0.8～0.85程度となります。
平均気温	<b>-1.4</b>	℃	結晶系の太陽電池は気温が低いほど効率が上がります。

## 発電量の月間推移

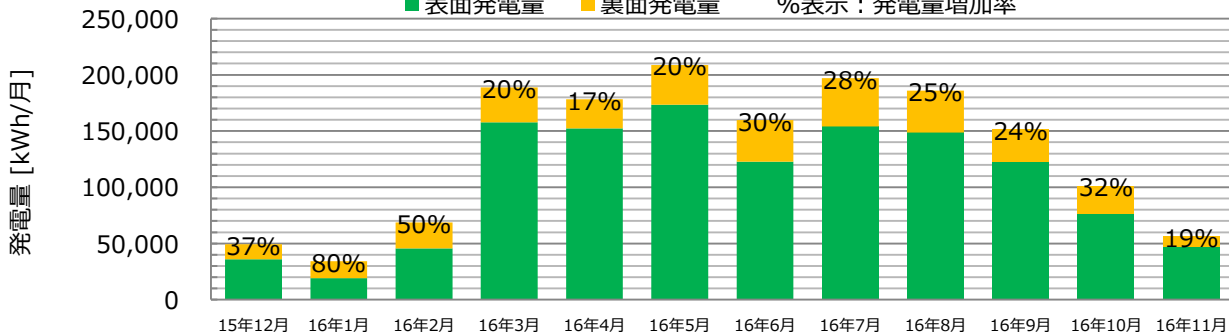
(データ欠測：なし) ■ + ■ = 実績発電量



## 発電量の年間推移

■ + ■ = 実績発電量

■ 表面発電量 ■ 裏面発電量 %表示：発電量増加率



	年間発電量 [kWh]	パネル1kW当たり [kWh/kW]	増加発電量 [kWh]	増加率 [%]	備考
北都ソーラー発電所	<b>1,579,954</b>	<b>1,169.2</b>	<b>323,902</b>	<b>25.8%</b>	2015年12月～2016年11月実績値
片面発電推定値	1,256,052	929.5	-	-	

\* 当資料の内容は、パネルの設置場所、気温、周辺環境、管理方法、データ通信状況などによる不確定要素を含んでおり、製品特性を正確に表現したものではなく、製品の性能を保证するようなデータではございません。

\* 当資料で示されている「実績発電量」は、全てパワーコンディショナーの出力値を使用しております。

\* 「表面発電量」は、実測日射量を用いた片面発電推定値となります。「裏面発電量」は、「実績発電量」から「表面発電量」を差し引いた値を示しています。「発電量増加率」は、「表面発電量」に対する「裏面発電量」の割合を示しています。